

DERWENT-ACC-NO: 1997-220505

DERWENT-WEEK: 199720

COPYRIGHT 2007 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Egg boiling device for microwave oven - has
opened
to container with cover which is provided with rod
to puncture yolk of egg being cooked in opened
container

PATENT-ASSIGNEE: TAIGAKURAUN KK[TAIGN]

PRIORITY-DATA: 1995JP-0246644 (August 30, 1995)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 09065978 A	March 11, 1997	N/A
004 A47J 029/02		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 09065978A	N/A	1995JP-0246644
August 30, 1995		

INT-CL (IPC): A47J027/00, A47J029/02

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 09065978A

BASIC-ABSTRACT:

The device has a plastic opened container (1) which stores the yolk and albumen of a cracked egg. A plastic cover (2), which is fitted over the opened container, is provided with a rod (3) which punctures the yolk during its cooking.

ADVANTAGE - Improves safety of microwave oven by preventing cover from popping out due to bursting yolk.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/6

TITLE-TERMS: EGG BOILING DEVICE MICROWAVE OVEN OPEN CONTAINER COVER
ROD

PUNCTURE YOLK EGG COOK OPEN CONTAINER

DERWENT-CLASS: P28

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1997-182416

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-65978

(43)公開日 平成9年(1997)3月11日

(51)Int.Cl. ⁹	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 J 29/02			A 4 7 J 29/02	
27/00	1 0 7		27/00	1 0 7

審査請求 未請求 請求項の数3 F D (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平7-246644

(22)出願日 平成7年(1995)8月30日

(71)出願人 391028719

株式会社タイガークラウン

新潟県燕市大字小池3330番地4

(72)発明者 小林 彰

新潟県燕市大字小池3330番地4 株式会社

タイガークラウン内

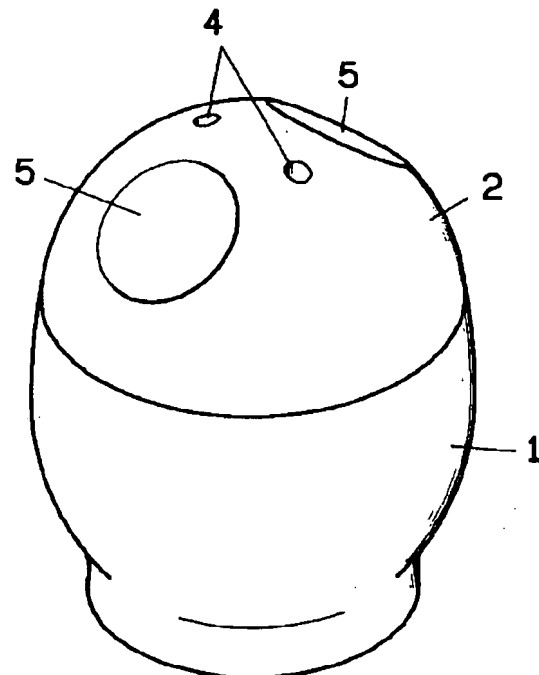
(74)代理人 弁理士 黒田 勇治

(54)【発明の名称】 電子レンジ用卵ゆで器

(57)【要約】

【解決手段】 生卵の卵殻を割除した卵黄及び卵白Wを収納可能な合成樹脂製の開口容器体1と、開口容器体の開口部に被嵌可能な合成樹脂製の蓋体2とからなり、上記蓋体に開口容器体内に収納された卵黄及び卵白内に突入可能な突入杆3を配設してなる。

【効果】 誤って、開口容器体内に収納された卵黄及び卵白に爪楊枝等により数箇所穴を開けなかったり、開けても穴の数が少なかったり、加熱時間が少し長過ぎたりしても、蓋体を被嵌することにより突入杆体が開口容器体内に収納された卵黄及び卵白内に突入しているため、突入杆体が穴を開けることになると共に半熟状の卵黄及び卵白が突入杆体に纏わり付き、このため蓋体が高く飛び散ることが抑制される。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 生卵の卵殻を割除した卵黄及び卵白を収納可能な合成樹脂製の開口容器体と、該開口容器体の開口部に被嵌可能な合成樹脂製の蓋体とからなり、上記蓋体に開口容器体内に収納された卵黄及び卵白内に突入可能な突入杆を配設してなる電子レンジ用卵ゆで器。

【請求項2】 上記蓋体に蒸気抜き穴を形成してなる請求項1記載の電子レンジ用卵ゆで器。

【請求項3】 上記蓋体の表面につまみ凹部を形成してなる請求項1又は2記載の電子レンジ用卵ゆで器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は例えば電子レンジにより半熟卵を作る際に用いられる電子レンジ用卵ゆで器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来この種の電子レンジ用卵ゆで器として、生卵の卵殻を割除した卵黄及び卵白を収納可能な合成樹脂製の開口容器体と、開口容器体の開口部に被嵌可能な合成樹脂製の蓋体とからなるものが知られ、しかし、この開口容器体に生卵の卵殻を割除した卵黄及び卵白を収納し、開口容器体内に収納された卵黄及び卵白に爪楊枝等により数箇所穴を開け、開口容器体に蓋体を被嵌し、この被嵌状態で電子レンジ内にいれ、所定時間加熱することにより、半熟卵が出来上がることになる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記従来構造の場合、義務履行を喚起しているものの、卵黄及び卵白に全く穴を開けなくて加熱したり、開けても穴の数が少なかったり、良質などでこのある卵の場合には開けた穴が閉じたり、加熱時間が少し長過ぎたりすると、蓋体や中身が飛び散り、蓋体は電子レンジの加熱庫内の天板に衝突するおそれがあるという不都合を有している。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明はこのような課題を解決することを目的とするもので、本発明のうちで、請求項1記載の発明は、生卵の卵殻を割除した卵黄及び卵白を収納可能な合成樹脂製の開口容器体と、該開口容器体の開口部に被嵌可能な合成樹脂製の蓋体とからなり、上記蓋体に開口容器体内に収納された卵黄及び卵白内に突入可能な突入杆を配設してなる電子レンジ用卵ゆで器にある。

【0005】又、請求項2記載の発明は、請求項1記載の蓋体に蒸気抜き穴を形成してなることを特徴とするものであり、又請求項3記載の発明は、請求項1又は請求項2記載の発明の蓋体の表面につまみ凹部を形成してなることを特徴とするものである。

【0006】

【発明の実施の形態】図1乃至図6は本発明の実施の形態例を示し、1は開口容器体であって、合成樹脂、例え

2

ば耐熱温度140℃、耐冷温度-20℃のポリプロピレン等の耐熱合成樹脂により半卵殻状に製作され、容量は生卵一個分の卵殻を割除した卵黄及び卵白Wを入れるに適した110mlとなっており、上部は開口部1aに形成され、下部は食卓に載置可能な座部1bが形成され、全体としてそのまま食用容器として使用して半熟卵を食する形状に形成されている。

【0007】2は蓋体であって、上記開口容器体1と同様にポリプロピレン等の耐熱合成樹脂によりほぼ半卵殻状に製作され、その下部周縁部に被嵌周縁2aが形成され、この被嵌周縁2aが開口容器体1の開口部1aの内周面に嵌合可能に形成されている。

【0008】3は突入杆体であって、この場合上記蓋体2の中心部に一体的に垂下形成され、上記開口容器体内に収納された卵黄及び卵白W内に突入可能な長さへ突出して形成されている。尚、突入杆体3の外周面に凹凸状の滑止部を形成することもでき、これにより卵黄及び卵白Wと突入杆体3との纏わり付きを高めることができる。

20 【0009】4は蒸気抜き穴であって、上記蓋体2に二個貫通して形成され、又、蓋体2の表面には一対のつまみ凹部5が凹み形成されている。

【0010】この実施の形態例は上記構成であるから、開口容器体1に一個分の生卵の卵殻を割除した卵黄及び卵白Wを収納し、開口容器体1内に収納された卵黄及び卵白に爪楊枝等により数箇所穴を開け、開口容器体1に蓋体2を被嵌し、この被嵌状態で電子レンジ内にいれ、例えば30秒乃至60秒程度の所定時間加熱することにより、半熟卵が出来上がることになり、この際、誤って、開口容器体1内に収納された卵黄及び卵白に爪楊枝等により数箇所穴を開けなかったり、開けても穴の数が少なかったり、加熱時間が少し長過ぎたりしても、蓋体2を被嵌することにより突入杆体3が開口容器体1内に収納された卵黄及び卵白W内に突入しているため、突入杆体3が穴を開けることになると共に半熟状の卵黄及び卵白Wが突入杆体3に纏わり付き、このため蓋体2が高く飛び散ることが抑制され、蓋体2が開く程度で治まり、よって電子レンジ調理の安全性を高めることができる。

40 【0011】またこの場合上記蓋体2に蒸気抜き穴4を形成しているから、電子レンジ調理に伴う蒸気は良好に逃げることになって良好な半熟卵を作ることができると共に開口容器体1及び蓋体2がそれほど熱くならず、又、上記蓋体2の表面につまみ凹部5を形成してなるから、指により蓋体2を容易につまむことができ蓋体2の開閉を簡単に行うことができる。

【0012】尚、本発明は上記実施の形態例に限られるものではなく、開口容器体1及び蓋体2の形状や構造、突入杆体3の形状等は適宜変更して設計される。

50 【0013】

3

【発明の効果】本発明は上述の如く、請求項1記載の発明にあっては、開口容器体に一個分の生卵の卵殻を割除した卵黄及び卵白を収納し、開口容器体内に収納された卵黄及び卵白に爪楊枝等により数箇所穴を開け、開口容器体に蓋体を被嵌し、この被嵌状態で電子レンジ内にいれ、所定時間加熱することにより、半熟卵が出来上がることになり、この際、誤って、開口容器体内に収納された卵黄及び卵白に爪楊枝等により数箇所穴を開けなかったり、開けても穴の数が少なかったり、加熱時間が少し長過ぎたりしても、蓋体を被嵌することにより突入杆体が開口容器体内に収納された卵黄及び卵白内に突入しているため、突入杆体が穴を開けることになると共に半熟状の卵黄及び卵白が突入杆体に纏わり付き、このため蓋体が高く飛び散ることが抑制され、蓋体が開く程度で治まり、よって電子レンジ調理の安全性を高めることができる。

【0014】また、請求項2記載の発明にあっては、上記蓋体に蒸気抜き穴を形成しているから、電子レンジ調理に伴う蒸気は良好に逃げることになって良好な半熟卵を作ることができると共に開口容器体及び蓋体がそれほ

4

ど熱くならず、又、請求項3記載の発明にあっては、蓋体の表面につまみ凹部を形成してなるから、指により蓋体を容易につまむことができ、蓋体2の開閉を簡単に行うことができる。

【0015】以上、所期の目的を充分達成することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態例の全体斜視図である。

【図2】本発明の実施の形態例の分解斜視図である。

【図3】本発明の実施の形態例の平面図である。

【図4】本発明の実施の形態例の断面図である。

【図5】本発明の実施の形態例の断面斜視図である。

【図6】本発明の実施の形態例の平面図である。

【符号の説明】

W 卵黄及び卵白

1 開口容器体

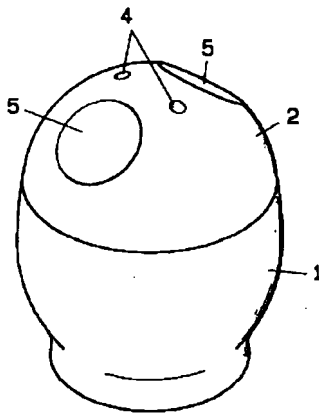
2 蓋体

3 突入杆体

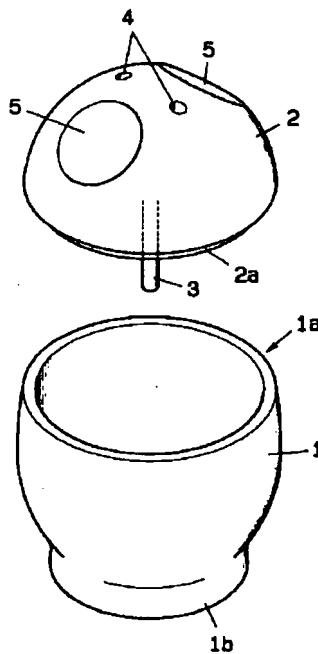
4 蒸気抜き穴

5 つまみ凹部

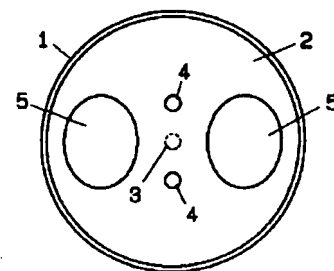
【図1】



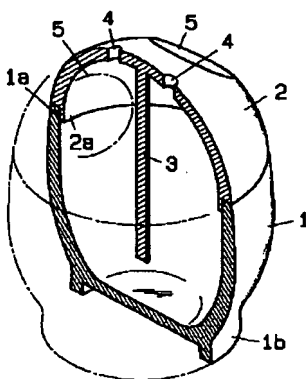
【図2】



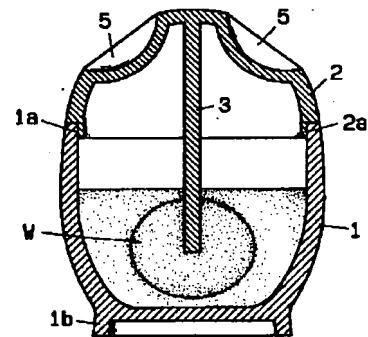
【図3】



【図5】



【図4】



(4)

特開平9-65978

【図6】

